



体育館で行われた各種展示会



川辺小の学習発表会から

文化の灯 絶やさずに

菊香る文化の祭典。村内各地で色々な催し物が行われた。

作品に見入りいつくしむ人。そして練習の成果を発表する子供たちなど。味わい深い多彩な行事がくりひろげられた。心の感じるままに。自分を表現する文化の灯……大切にしたい。

今月のページ

- 玉川団地2号棟着工
- おごそかに戦没者追悼式… 2
- 教育長、教育委員任命される
- 成人おめでとう…………… 3
- 年末年始の交通安全運動… 4
- 優良従業員表彰…………… 5
- シリーズ企業紹介…………… 6
- スポーツに汗流す
- 若人の翼に参加して………… 7
- 少年の主張
- 家庭の日作文作品表彰………… 8

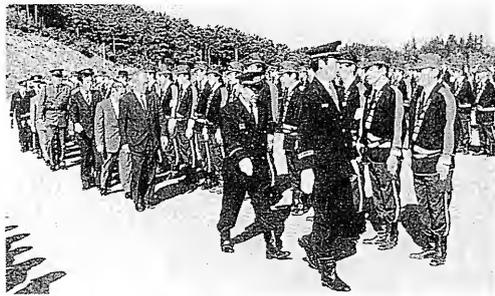
村宮住宅玉川団地 第2号棟着工!!



第2号棟の起工式で鉄入れする村長

十一月二十二日村宮住宅の起工式が、岩法寺字藤岡地内の玉川団地建設予定地において行われました。
式には、村長をはじめとする村関係者と施業者ら二十五人が出席。神事にのっとり、村長と村越建設(株)社長が鉄入れしたあと、村長、議長、施業者らが玉ぐしをささげ、工事の安全を祈願しました。

七月に完成、九月入居を予定しています。
建設規模は、三階建て十八戸で、一階は二LDK六戸、二階と三階が三LDK十二戸となっています。
この玉川団地は、昭和六十二年度から三期三年計画で進められているもので、すでに入居している一号棟と合わせ、来年度は三棟が建設され、建設戸数は四十八戸になります。また、住宅建設とあわせて、団地の集会所と幼児遊園についても、今年度から整備されています。



通常点検を受ける団員

二百二十二のみ霊安らかに おごそかに戦没者追悼式

日清、日露、大平洋戦争において犠牲となられた村内戦没者二百二十二名の追悼式が、十月十七日村体育館で行われました。この追悼式は四年に一度行われているもので、ご遺族はじめ多数の来賓者が参列しました。
戦没者に黙祷をささげたあと、車田村長が「戦争の犠牲となられたみ霊に対し謹んで追悼の誠をささげます。再び悲しみの歴史を繰り返さない決意を強く誓い、み霊の安らかなご冥福を祈ります」と式辞を述べました。

また、遺族を代表して真野目照治さん(河平)が「悲惨な戦争から四十三年の歳月が流れましたが、父と私の最後となった泉郷駅までの見送りは、終生忘れることができません。その後苦難と闘いながらも今日の生活を送れたことは、ひとえにみ霊のご加護のお陰です」と追悼のご言葉を述べ、戦没者各位のご冥福を祈りました。
このあと、遺族会長をはじめ各部落の代表者らが祭壇に菊花を献じ、おごそかなうちに追



おごそかにご冥福を折る

悼式を閉じました。
引き続き、遺族会主催の慰霊祭では、神式により遺族会長らが玉ぐしをささげ、続いて仏式により参列者全員が焼香し、戦没者の霊を慰さめました。

士気旺盛に秋季検閲

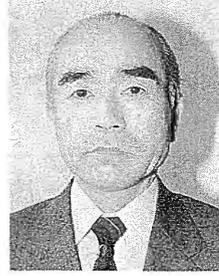
村消防団の秋季検閲が、十月二十三日村民グラウンドで行なわれ、団員二百六十六人が参加し、士気旺盛な勇姿を披露しました。
車田村長が点検官に委嘱され、通常点検と分列行進を検閲しました。このあと、小原団長が「火災が発生しやすいシーズンに備え、住民の生命財産を守るため、

予消防防の徹底に力を注いでほしい」と訓示し、団員の統率を図りました。
冬期間は、暖房器具、台所などからの火災の発生が多く見られます。また、乾燥と相まって風が強い季節です。火の取り扱いには十分気をつけましょう。

教育長に関根氏(再任)

教育委員に大竹氏を任命

十二月十九日村長室において、関根忠幸氏(57歳・小高)と大



教育長の関根忠幸氏



教育委員の大竹義明氏

ゆたかな創造力はぐくむ

教育長 関根忠幸

玉川村教育委員会教育長に十一月十九日付で三たび任命されて就任いたしました。

本村両中学校の改築事業をかかえている重要な時期ですので更に一層の重責を痛感いたします。これからの教育の目標に求められている、ひろい心、すこや

竹義明氏(41歳・岩法寺)に対し、村長から村教育委員の任命書が交付されました。このあと最初の教育委員会において、教育長に関根忠幸氏を任命(再任・三期目)しました。
両氏は、任期満了に伴う改選により、先の第四回臨時議会において同意されたもので、仁井田仁一氏は、十一月十八日もって退任されました。
本村の教育委員会は五人の委員で組織され、今回就任された両氏は、今後四年間村教育行政の管理と執行にあたります。

かな体、ゆたかな創造力をはぐくむ教育のために、今までの経験をもとにしながらも考えを新たに、本村教育進展のために一生懸命努力する覚悟でございますので、ご鞭撻をお願い申し上げます。

成人おめでとう

来春1月15日に成人式



昨年の成人式から

名前の載っていない方、または、ふるさとで成人式を迎えたい方は、12月27日までに、村公民館(☎57-3101)へお申し込みください。

成人式を迎えられる方々

(調査日、十一月一日)

- 川辺 石井智恵子・熊田亜希子・熊田哲也・坂本のぶ子・佐藤 勝・田子春美・野崎加代子・芳賀洋子・矢吹賢治・矢部洋子・吉田光子
- 蒜生 石井さつき
- 小高 有賀一徳・石井チヨ子・金澤知子・車田文子・小針敦子・関根かおり・西島美穂子・溝井庄一・矢吹カツ子・矢吹 隆・湯澤美香

村では、来春一月十五日就業改善センターにおいて成人式を行います。
今回成人式を迎えられる皆さんは、昭和四十二年四月二日から昭和四十四年四月一日までに生まれた方です。現在、村内に住んでいる方は六十三人です。

小針さんに県統計協会会長賞

第三十八回県統計大会が十月二十日会津若松市県営会津体育



小針安勝さん

館で開催され、本村の小針安勝さん(北須釜字雀森)に県統計協会会長賞(会長・佐藤栄佐久)が贈られました。
受賞された小針さんは、統計調査員として多年にわたり各種統計に協力され、統計発展に尽くされてきた功績が認められたものです。

- 小林幸恵
- 南須釜 阿部真由美・大越昭子・大野政幸・大野みどり・小原伸夫・相樂美奈子・穴戸 敦・高橋雄一・圓谷さとみ・増子瑞枝・真野目恵
- 北須釜 草野和洋・小針文子・鈴木政義・鈴木健一・瀬谷康彦・矢吹聡人・渡邊賢一・渡邊一房・吉 佐藤祝月
- 山小屋 石森ゆかり
- 四辻 塩田勝吉

危険がいっぱい冬の道



秋の交通安全パレード (五一小)

年末年始

交通事故防止県民総ぐるみ運動

早朝・夜間の運転は慎重に

十二月十日から一月十日までの三十二日間、年末年始交通事故防止運動が展開されます。

明るい新年を迎えるためにも、家族みんなで次のことを守りましょう。

年末年始は、交通の混雑をはじめ早い日没、積雪や凍結など道路状況が悪化することから、交通事故の多発が予想されます。また、忘年会や新年会などで飲酒の機会が多くなることから、飲酒運転が心配される季節です。

- ・冬道は気をつけて
- ・出発は一〇分早めに
- ・車間距離を十分にとる
- ・急ブレーキ、急ハンドルを避ける
- ・ライトは早めに点灯する

特に日陰道や橋の上は、地熱がないため、積雪が多く凍結しやすい場所です。前もって減速し、路面の状態に合った速度を心がけてください。

*飲酒運転はやめよう

- ・運転する時は酒を飲まない
- ・酒を飲んだら運転しない

*子供とお年寄りを事故から守ろう

- ・飛び出しに注意
- ・スピードはひかえめに

*シートベルト・ヘルメットは必ず着用しよう

尾を引く

お酒のききめ

酒に強い人ほど「二、三時間休めばさめる……」などと早合点する人が多いものです。でも、例えば、日本酒三合(あるいはビール大びん二本)を飲んでから体の各機能が完全に平常に戻るまでに、七、八時間を要

するというデータもあります。また、二日酔いにならないまでも、深酒をした翌日はアルコールの影響が尾を引き、気分も体調もすぐれず、それが運転にも影響して事故の誘因になることがあります。実際、この飲酒運転でない飲酒運転の事故が相当数あります。

さらにまた、飲酒運転は、周囲の人にも責任の一端があるという場合もあります。車を運転することを知らずして無理に酒を勧めたりすると、場合によっては飲酒運転者と同様に罰せられることがあります。車を運転する人に対しては、絶対に酒を勧めないよう徹底しましょう。

交通事故地域別発生状況 昭和63年10月31日現在

区分	石川町	浅川町	玉川村	平田村	古殿町	計	
件数	63年	55	18	17	27	23	140
	62年	69	16	21	21	25	152
死者	63年			2			2
	62年	3	1			1	5
傷者	63年	80	24	21	46	30	201
	62年	93	62	27	34	36	252

献血に

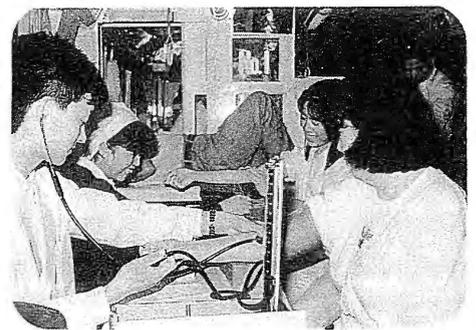
ご協力ください

村では、次により献血を実施します。みなさんの温かいご協力をお願いいたします。

実施日 十二月六日(火)

場所および時間

- ・玉川村役場前
午前9時10分から11時10分
- ・加藤加工(午前)
午前11時20分から11時50分
- ・須釜農協前
正午から午後1時40分
- ・玉川畜産センター前
午後3時から3時30分
- ・(有)片山ゴム製作所前
午後4時から4時45分
- ・(株)安田縫製前
午後5時から5時30分



昭和63年度優良従業員表彰

吉田さんら28名が受賞



表彰された28人のみなさん

村商工会主催の昭和六十三年度優良従業員表彰式が、十一月二十三日「勤労感謝の日」に就業改善センターで行われました。表彰式には、村内十七の事業所から選ばれた二十八人が出席し、双里正司商工会長から受賞者一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。

表彰式終了後、元郡山市教育長で現在、家庭教育を考える会会長の堀内鉄雄氏から、「心豊かな社会をきずく」と題する記念講演がありました。受賞された方々は次のとおりです。(敬称略、順不同)

- | 受賞者名 | 事業所名 |
|--------|-------------|
| 吉田 トク | (有)加藤化工 |
| 石森 三勝 | (株)玉川畜産センター |
| 車田 清和 | 車田建設 |
| 古川 豊子 | (株)福島エンヤ |
| 栄 伊津子 | 〃 |
| 矢部 八重子 | (株)須藤ハーネス |

- | | |
|--------|------------|
| 鈴木 信四郎 | 須藤工業 |
| 関根 二男 | (有)小林工務店 |
| 鈴木 吉二郎 | 駒木根工業(株) |
| 駒木根 等 | 〃 |
| 車田 ヨシ | 〃 |
| 首藤 静子 | 福島双羽電機(株) |
| 飯村 松子 | 〃 |
| 佐久間かず子 | 〃 |
| 渡辺 裕彦 | 〃 |
| 大越 幸久 | 中根精工(株) |
| 塩沢 清一 | 〃 |
| 大野 佐源治 | 〃 |
| 関根 正秋 | 〃 |
| 大和田アキ子 | (株)安田縫製 |
| 田子 ユキ子 | 福島リパーストーン |
| 安藤 博 | (有)佐藤製作所 |
| 吉村 シサヨ | (有)矢部ソーイング |
| 矢部 政広 | 東京精工(株) |
| 西牧 繁雄 | 〃 |
| 根本 武則 | 〃 |
| 大野 シゲ子 | 強力玉川工場 |
| 大竹 久美子 | (有)スズキシヤツ |

年金

年金を受けている人へ住所が変わったときには届出を

老齢年金や老齢基礎年金などの年金を受けている人も、住所が変わったときには届けが必要で、届けをしないと、支払通知書が旧住所地に送られてしまったり、誕生月に提出する受給権者現況届に市町村長の証明が受けられなくなり、年金の受け取りが遅れることとなります。住所が変わったときは、市町

村役場に備えてある住所変更届の用紙で、すみやかに最寄りの社会保険事務所に届け(郵送)しましょう。

なお、障害基礎年金・遺族基礎年金や旧法障害年金・母子年金を受けている人は、今まで市町村役場に住所変更の届けをしていましたが、これからは社会保険事務所に届けることになりました。

須釜小に

県緑化推進委員会会長賞

第三十九回県学校林・環境緑化コンクール

県内学校の緑化活動と緑化教育の実績を評価する第三十九回県学校林・環境緑化コンクールにおいて、環境緑化の部で須釜小学校が県緑化推進委員会会長賞に輝きました。



校舎を飾る見事な植木

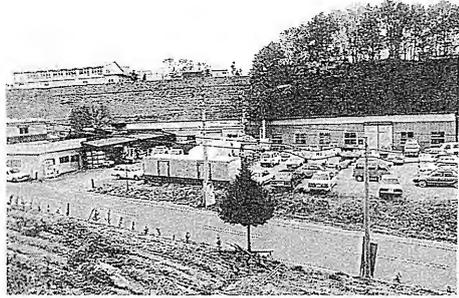
特に、植木が重視される環境緑化の部ですが、須釜小学校では、二年前に庭園保存会(会員三十八名)ができたほか、PTA奉仕作業、老人クラブなどの協力を得ながら、定期的な手入れや木の名前を書いた立札を立てて木への関心を高めています。

今後の計画として鈴木英夫校長は「来年は、校門近辺の整備

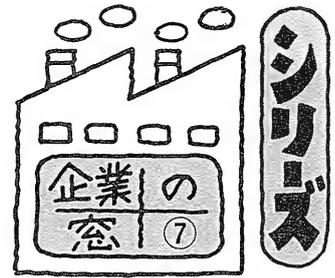
と雑木林の木の名前が覚えられよう配慮したい」と、緑化教育への意欲を語っています。

確かな製品で品質認定工場目指す

双葉産業は、時計ケースとOA機器部品を生産する会社として、昭和五十四年十月に天栄村で操業を開始しました。翌年九月に現在地に玉川工場を設立、当初三人だった従業員は、その後天栄工場の閉鎖とOA機器産業のめざましい発展に伴い、受注の増大から工場の拡張が進められ、現在では五十一人までに成長しています。また、社長の塩沢さんは、本村出身者として従業員はじめ地域関係者の信



望が厚く、今後も本村活性化のため、受注動向を考慮し増員を予定しています。精度の高いOA機器部品に对应して、創業以来QC活動に取り組み、品質の安定とコストの低減に努めています。特に、品



有限
双葉産業



代表取締役
塩沢菊男

会社の概要

所在地 玉川村大字南須釜
字中奥平13番地
業種 OA機器部品
従業員数 51名(男29名 女22名)
創立 昭和54年10月1日
玉川工場 操業昭和55年9月

社訓
Ⅰ 我々の豊かな心で品質を高め明るい未来を築こう
Ⅱ 我々の確かな心で社会に良い製品を送ろう
Ⅲ 我々の強い身体と働きで我が家のくらしを充そう

質においては、PPM管理である品質認定工場を目指し、良い製品づくりに心血を注いでいます。

先端複写機の

アルミニウム部品

取扱製品の九十％は、アルミニウムを主原料とする複写機の部品で、富士ゼロックス社の製品が主力となっています。

複写機は、便利な事務機として普及率が高くなっていますが、年々多機能化し、精密な構造と

数えきれない部品から組み立てられています。このうち、アルミニウム製部品約三百種類を生産しています。

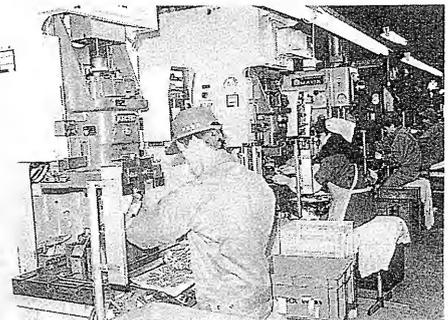
操業当初は、専用機による切削機械加工だけでしたが、現在では、金型設計から製作に至る一貫生産システムを採用しています。OA機器を装備した最新型のプレス(百トから百五十トクラス)など大小数十台の機械を並列に配備して生産ラインの合理化に努め、ユーザーのニーズに対応しています。



活気あふれる 明るい職場

双葉産業では、労使の別なく全員が加入する互助会があり、スポーツ大会や芋煮会などの行事を通じて、相互の親睦を深めています。また、従業員の平均年齢が三十歳と若いうえ、ほとんどが地元採用者です。社長との対応にも、歯切れのよい返答が見られ、活気にあふれた明るい職場です。特に、チームワークを誇る野球部は、各種大会において好成績を残しています。

次回は
奥野電気㈱です



第17回少年剣道大会

吉田君 泉中 が二連覇

十月二十三日勤労者体育センターで第十七回玉川村少年剣道大会が行われました。

地元剣友会のほか、古殿町や浅川町・須賀川市(大東)の剣友会を招待して熱戦が展開されました。

試合結果は次のとおりです。

＊団体の部

〈小学生〉

優勝 須釜少年剣友会A
準優勝 須釜少年剣友会C
第三位 須釜少年剣友会B

〈中学生男子〉

優勝 浅川中A
準優勝 泉中A
第三位 泉中C

〈中学生女子〉

優勝 泉中A
準優勝 浅川中A

ほほ染め健脚競う 須釜中で非行防止マラソン大会

十一月十二日須釜中学校において、非行防止マラソン大会が開かれました。須釜中学校と須釜地区防犯協会が主催したもので今年で十回目。村長はじめ石川警察署防犯係長ら多数の来賓が出席する中、村長が「将来社会人となる皆さんにとって、体力と気力を養うことが一番大切なことです。最後までマイペースで頑張ってほしい」と生徒たちを激励し、念入りの準備体操のあと、女子五十六人が二・七

晴天のマラソン日和となり、生徒たちはほほを染めながら快走し、一人の脱落者もなく完走しました。特に、最後のランナーと一緒に伴走しみんなで温かく迎える光景に、友情の大切さを感じられました。

個人三位までの入賞者は次のとおりです。

男子の部

第一位 石森フミイ(三年)
第二位 阿部由美子(〃)
第三位 関根美香(二年)

女子の部

第三位 須釜中A
＊個人の部

〈小学生〉

優勝 斑目 宏(須釜小)
準優勝 矢吹かおり(〃)
第三位 矢吹勇雄(〃)

〈中学生男子〉

優勝 吉田雅弘(泉中)
準優勝 岡田良寿(浅川中)
第三位 緑川雅志(〃)

〈中学生女子〉

優勝 佐藤まち子(浅川中)
準優勝 岡部睦美(泉中)
第三位 仁井田充恵(〃)



みんなの励ましを背に受けてゴールへ

若人の翼に参加して①

須藤 昭(川辺)

私は、「若人の翼」欧州Ⅱコースに参加し、東西ベルリン・ハンガリー・フランスを十五日間にわたり研修してきました。日本との生活環境の違いを感じると共に貴重な体験をさせていただきました。その中で、特に印象に残ったことを述べてみたいと思います。

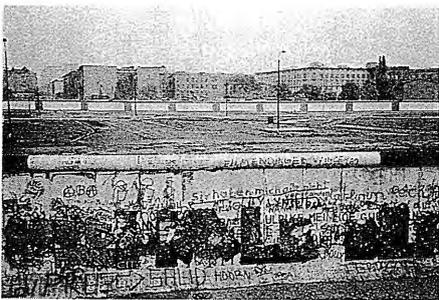
最初に訪問した西ベルリンは、街全体が活気にあふれ、たくさんの緑と湖がある自然の雄大さに我を忘れたほど美しい街でした。しかし、西と東を分けるベルリンの壁は、東西四十五キロ以上に及び、今なお亡命者が後を絶たない西と東の境界線であり、緊張感のあるところでした。

西から東へ、約一時間の入国手続きを済ませ東ベルリンに入りました。ところが、建造物は古く人通りが少ないひっそりとした街並みに、まるで古い映画でも見ているような錯覚に陥りました。一方、昔様式の宮殿が立ち並ぶポツダム市の光景は、実に壮観で美しいものでしたが、ザクセンハウゼンという強制収容所が目

に写った時は、あまりにも対照的な光景に、暗くて重苦しい不気味さを感じました。ナチスによってユダヤ人や反ファシストがこの収容所に放り込まれ、数々の拷問と過酷な労働に血を流し虐殺された人々のことを思うと、胸が絞めつけられる思いでした。想像以上の戦争の傷跡に触れ、歴史的な体験ができたように思います。

この東西ベルリンは、一つの壁で東と西に接しながらも、その溝は深く、東にとって西の存在は近くて遠いところ。まさに戦争の遺産であることを強く感じました。そして私たちが住む日本が、いかに平和でありがたいものであるかを痛感させられました。

(次号に続く)



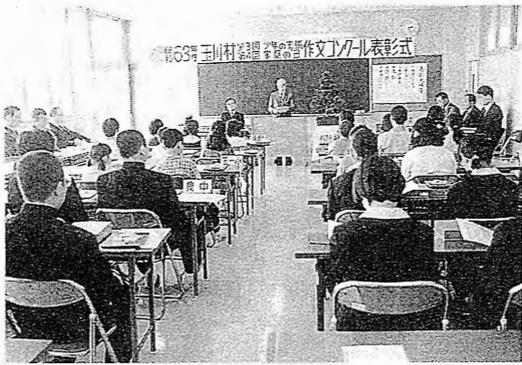
西と東を分けるベルリンの壁

身近な生活体験をまとめる 「少年の主張」「家庭の日」作文

三十三人を表彰

村青少年育成村民会議が主催した第三回「少年の主張」作文コンクールと第四回「家庭の日」作文コンクールの表彰式が、十月二十六日就業改善センターで行われました。

中学生が日ごろ考えていることを題材にした「少年の主張」には、二百七十六人が参加。また、家族のふれあいを題材にした「家庭の日」には、小・中学生三百八十人が参加しました。表彰式には、それぞれ入賞された三十三人が出席し、会長（車



表彰式で講評を述べる関根教育長

田村長）から入賞者一人ひとりに賞状と記念の盾が贈られました。また、講評では、審査員を

県大会
井手君 泉 中 優秀賞獲得
大和田君 須釜中 は優良賞に



優秀賞に輝いた井手浩智君

この「少年の主張」は、県青少年育成村民会議が主催する県大会に通じており、県内で二千五百九十九人が参加しました。この中から本村の井手浩智君と大和田伸広君を含む十七人が見事予選を通過し、九月二十七日県青少年会館で開かれた「第十回少年の主張県大会」に出場、大ぜいの聴衆を前にして熱弁を振りました。

この結果、井手君が優秀賞に、

優秀賞 「もう一人の自分と」
大和田伸広（須釜中）
「心のメダル」
須藤孝一（泉 中）

「家庭の日」作文

・小学校一・二年生の部
最優秀賞
「おとうさんのにゅういん」
佐瀬智美（須釜小）
優秀賞
草野はるみ（須釜小）
矢部 崇子（川辺小）

大和田君が優良賞に輝きました。優秀賞に選ばれた井手君の作品「母に学ぶ」は、養護施設の看護婦として忙しい母に、会話が思うようにできない自分の不満をぶつけたところ、寂びしげな母の言葉に学園の生徒から信頼される母の立場を理解し、毎日の生活への心構えを学んだという内容となっています。

なお、「家庭の日」作文コンクールに入賞された二十四人の作品についても、県大会へ参加しています。

上位入賞者は次のとおりです。

最優秀賞
「わが家の味」
関根美和（泉 中）

優秀賞
増子 薫（須釜中）
大越良子（須釜中）

・一般の部
優秀賞 鈴木芳子（南須釜）

「少年の主張」作品
最優秀賞
「母に学ぶ」
井手浩智（泉中）

黒木理絵ちゃんら 五十九人が入賞 税に関する習字展

小・中学生を対象に税に対する関心を高めてもらうと、村では、税を知る週間にちなみ「税に関する習字展」の作品を募集しました。応募数は千三百三十一点あり、その中から次の方が上位入賞されました。

須賀川税務署長賞

- 黒木 理絵（川辺小一年）
- 湯沢 智子（玉一小二年）
- 溝井 敦（〃三年）
- 湯沢 康太（〃四年）
- 瀨谷 雅俊（須釜小五年）
- 湯沢 陽子（玉一小六年）
- 増子 薫（須釜中一年）
- 石森 正敏（〃二年）
- 湯沢 のぞみ（泉 中三年）

玉川村長賞

- 溝井 正文（玉一小一年）
- 塩沢 由貴（須釜小二年）
- 瀨谷 ゆう子（〃三年）
- 関根 章弘（玉一小四年）
- 曲山 博子（〃五年）
- 石森 裕子（須釜小六年）
- 榊 枝徳子（須釜中一年）
- 大越 良子（須釜中二年）

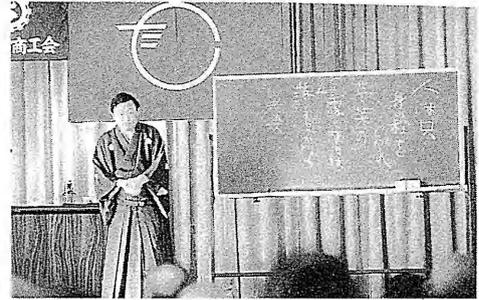
馬琴師匠

玉川を語る

文化祭の一環として文化講演会が、十一月十二日村体育館で行われました。今回は、講師師で有名な宝井馬琴師匠を招き大ぜいの村民が聞き入りました。

「武田信玄に学ぶ」と題して、歴史に残る戦国武将の短命さを指摘し、長生きの秘けつや家康公の名言にまで及び、人としての生き方について名文句とユーモアを交え講演しました。

このあと、本村にまつわる「五兵衛物語」を披露。泉がこん



黒板を使って長生きの秘けつを教える馬琴師匠

公民館

十二月の行事予定

- 11日(日)少年ふるさと運動 しめなわ作り(就業改善センター)
 - 12日(月)第七回青年教室 「幸せな結婚」
 - 19日(月)第八回婦人学級 「婦人の健康を考える」
 - 21日(水)第八回高齢者教室 「暮らしを歌う」
- 講師 村保健婦
講師 郡山「椿山荘」常務
講師 高原本代子先生

夫婦で子育て

⑧

生活の中の儀式

訃 摩 武 俊

東京都立大学教授

お七夜、お宮参り、七五三、成人式、還暦など人生のある時点でお祝いがなされます。無事に成長したことを本人のために、まわりの人が祝福する習慣で、通過儀礼ともいいます。たとえお宮参りというのは誕生後三か月、あるいは百日を迎えた日に近くの神社に親が抱いてお参りをします。このころになると

首がちやんと座って抱きやすくなります。順調に育ちつつあることをお祝いする意味があると思います。

お正月、節分、桃の節句、端午の節句、春と秋のお彼岸、お月見など季節ごとの行事もたくさんあります。入学式、卒業式、開校記念日、入社式、結婚式さらに告別式、三回忌など、よそ

の国に比べてわが国にはこのような行事が多いように思います。以前はもっと多かったです。地方によって独自の行事もあります。

いずれも多くの人がひとつの場所に集まって飲食を共にするところに特徴があります。相互の連帯感を高め、ある場合にはひとりの人を褒めたたえ、激励し、ある場合にはそこにはない人を慰むことによつて、その人と自分との関係を考えてという意味があります。

近年このようなさまざまな行事が一方においては華美になり

新春の公民館行事案内

スキー教室

日時 64年1月22日(日)
場所 磐梯国際スキー場
対象 村内在住、勤務の男女(小学生以下は父兄同伴)
定員 45名
参加費 1人1,500円(貸スキーは、別料金)
申込み 1月10日(火)まで参加費を添えて村公民館へ

新春囲碁将棋大会

日時 64年1月29日(日)午前8:00~8:20分受付
会場 玉川村就業改善センター
対象 村内在住、勤務の方
参加費 1人400円(おにぎり代)当日徴収
申込み 1月21日(土)まで村公民館へTEL可
※詳しくは、後日募集のチラシを配布します

他方においては省略化され、廃止されつつあります。結婚式、社長の就任式、七五三などは前者であり、節分の豆まき、紅葉狩りなどは後者になります。自然との接触の少ない都会型の生活が主になったのですからやむを得ません。針供養とか灯笼流しなどは知らない人も多くなりました。

子供を中心に考えたとき、私には人生のそれぞれの節目にあたる儀式、一年の季節の移り変わりとの関係の深い行事は、家庭の中で、できる範囲内でやってほしいと思います。親と子が同じ

場所において体験を共にし、その日のいわれについて親が子供に話すことが大切なのです。

親と一緒に七夕の夜を楽しんだり、秋のお月様を眺めながらおだんごを食べたりした記憶は子供の心の中に鮮明に残るものです。そしてその日の親の言葉や動作もふだんの日とは違ったものとして忘れ難いものになるのです。



12月の健康 ごよみ

- 13日(火) 1歳6か月児健診
就改センター
午後1:00~1:30(受付)
- 16日(金) 6~7か月児健康相談
母子センター
午前9:30~10:00(受付)
- 3~4か月児健診
母子センター
午後1:00~1:30(受付)
- 20日(火) 三種混合予防接種
就改センター
午後1:30~2:00(受付)
- 21日(水) 母親教室(第1週)
母子センター
午前9:30~9:45(受付)
- 22日(木) 三種混合予防接種
須釜公民館
午後1:30~2:00(受付)

受け取ってますか? 「公給領収証」

みなさんが、バー、スナック、飲食店などで飲食したり、旅館に宿泊したりしたときに、その利用料金に応じて、料金と一緒に10%の「料理飲食等消費税」という県税を負担しています。

お店の経営者は、料理飲食等消費税を受け取ったしるしとして、お客さんに公給領収証を渡すことが義務づけられています。

公給領収証を受け取ることによって、みなさんが負担した税金がお店を通して確実に県に納められることとなります。そして、住みよい郷土、明るい社会を築くために役立っているのです。公給領収証を必ず受け取りましょう

- ### 十二月の在宅当番医
- 4日(日) 杏林堂医院
 - 大野病院(石)
 - 11日(日) 円谷医院(石)
 - 務川医院(石)
 - 18日(日) 大野眼科診療所(石)
 - 中島病院(石)
 - 添田医院(石)
 - 25日(日) 小平大野分院(平)
- 29日(木) 三瓶胃腸科医院(石)
会田病院浅川診療所
- 30日(金) 山本医院(石)
角田外科医院(浅)
- 31日(土) 沢村病院(平)
矢内医院(石)
- ※(石)：石川町 (平)：平田村
(浅)：浅川町
- 診療時間 午前八時三十分から
午後四時まで
必ず保険証をお持ちください。
(石川郡医師会)



お知らせ

今月の納税

固定資産税(第三期分)
国民健康保険税(第六期分)
国民年金保険料(十二月分)

納期限は十二月二十八日(月)までです。忘れずに納めましょう。

寄付 ありがとうございます でございます

左記の方々から社会福祉活動資金として寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

●匿名さんから(九回目) 一 万円

- 小高の溝井六郎さんから 五 万円
 - 中の高林浅二さんから 十 万円
 - 河平の石森松吉さんから 一 万円
 - 中の小針信子さんから 二 万円
- (村社会福祉協議会)

お誕生おめでとう ございます

(10月届出分)

地 区	出生児氏名	保護者名
川 辺	白旗大樹	登志夫
小 高	曲山純平	正 宏
岩 法	塩澤結花	浩 道
竜 崎	上野会美	善 一
南 須	大野悠	進
北 須	鈴木智恵	正 浩
〃	草野翔太	直 一
〃	有賀智史	貞 亥
〃	大和田尚史	尚 一
四辻新田	須田知寛	潤

おくやみ 申し上げます

(10月届出分)

地 区	死亡者氏名	年令	世帯主名
川 辺	矢部キン	76	敏 彦
〃	味原シゲ	65	稔
小 高	溝井タツヨ	84	六 郎
中	小針良一	32	善 雄
南須釜	増子サタ	82	サ タ
山小屋	石森半三郎	88	保 男

村のようす (63年11月1日現在)

	1,576戸(±0)
	7,565人(+7)
	3,749人(+6)
	3,816人(+1)